



市内図書館

- 中央図書館 (LIC はびきの内) 軽里 1-1-1 ☎ 072-950-5501
- 陵南の森図書館 島泉 8-8-1 ☎ 072-952-2750
- 羽曳が丘図書館 羽曳が丘西 2-5-1 ☎ 072-957-5553
- 丹比図書館 樫山 251-1 ☎ 072-937-2355
- 東部図書館 古市 1541-1 ☎ 072-950-2002
- 古市図書館 ☎ 072-958-0050 (休) 10:00 ~ 17:30
- ブックステーションはびきのコロセアム ☎ 072-937-7210 (休) 13:30 ~ 16:30

●開館時間 10:00 ~ 18:00 (※中央図書館は 10:00 ~ 20:00)

●ちびっこサロン

～おはなし・手遊び・おりがみ など～

【日時】4月12日(水) 10:30 ~

【場所】森のゆうびん局 (市役所敷地内)

◆四天王寺大学の図書が市立図書館で閲覧できます (中央図書館・陵南の森図書館のみ)

【利用できる方】市在住・在勤・在学のいずれかの方 ※図書館利用カードが必要

【利用方法】インターネットで四天王寺大学図書館の蔵書を検索し、ご希望の図書を市立図書館にお申し込みください。

※一部取り寄せできない図書もあります。(詳しくは図書館ウェブサイトか案内チラシをご覧ください) ※館外貸出は行いません。 ※閲覧期間は最大3週間まで、期間中は何度でも閲覧可

【問合せ】中央図書館・陵南の森図書館

●ストーリーテリング入門講座

【日時】5月8日、15日、22日、6月5日(月) 10:00 ~ 12:00

【場所】LIC はびきの 中会議室 B

【講師】羽曳野市文庫連絡会おはなしの森

【定員】20人 (先着順)

【申込】4月10日(月) 10:00 から中央図書館にて受付 (電話可)

『とらさんおねがいおきないで』

ブリッタ・テックントラップ / 作・絵
木坂 涼 / 訳
ひさかたチャイルド

眠っているとらさんを起こさないようにしながら、動物たちが何かを準備しています。この本を読んでいるあなたも、お手伝いしてあげてくださいね。



読んでみませんか?

『顔ニモマケズ』

水野 敬也 / 著
文響社

外見にハンディを負いながら、自分らしく生きる9人へのインタビューを通じ、「見た目」にとらわれず幸福をつかむために必要なことを教えてくれる一冊です。



『ぐるぐるの図書館』

工藤 純子 / (他) 著
講談社

好きな男の子に誕生日プレゼントを渡せなかった翌日、図書室の扉に奇妙な貼り紙を見つけた私。「後戻りしたい人はお入りください」半信半疑で中に入ってみると…。



おはなし会(4月)	東部図書館	12日(水)	10:30 ~	陵南の森図書館	2日(日)、9日(日)	11:00 ~
	羽曳が丘図書館	8日(土)、22日(土)	15:00 ~		23日(日)	15:00 ~
	古市図書館	15日(土)	15:00 ~		15日(土)	15:00 ~
	中央図書館	2日(日)、9日(日)、16日(日)、23日(日)	13:30 ~		16日(日)	・11:00 (小さい子向き) ・11:30 (少し長いお話を聞ける子向き)
	丹比図書館	22日(土)	10:30 ~			

●今月の休館日●

4月30日(日)

市内の図書館は全て休館です。

サラダボール

学校現場では、子どもたちからポロっとこぼれ出てくる素敵な言葉に人生のすばらしさを感じることがあります。幼いころから家庭でかけられるたくさんの言葉、そのうちのいくつかは子どもたちの胸の底にたまっていくようです。

中学1年生の国語では、そんな言葉を書き出してみる「胸の底の人と言葉たち」という授業がありました。作者の理解を得て、そのうちの短作文を2つご紹介したいと思えます。

●「自分を飾るのもいいけど、自分の飾ってないところも人に見せなさい。ありのままの自分を見せなさい。」 - 母から、私が友達とけん

かしていたときに、思っていることはちゃんと言いなさいと教えられた言葉です。自分を飾るのもいいけど、飾りすぎはけんかなどのものになるんだよ、と言われたときの母の表情まで覚えています。その言葉を聞いて、この日まではいつも友達に合わせて行動をしていたけれど、いまは自分の思うことはちゃんと伝えるようになりました。

●「生まれてきてくれて、ありがとう。」 - テレビで、いじめが原因で自殺しているニュースを見て、いじめのない学校でよかったなあとおばあちゃんに言われ、いじめがないわけじゃないのになあ、と思ったときのことです。いろんなことを考えさせられましたが、自殺するまでいじめがエスカレートするのはひど

ぎると思いました。そのときに、おばあちゃんに「この家族に生まれてきてくれてありがとう」と言ってもらえたから、すごくうれしかったのです。小学生のときにすこしいやなことがあって、つらかったし親にも言えないし、自分がいやになったけれど、あのおばあちゃんの言葉を思い出して、ここまでできました。いまは学校が楽しくて、これはおばあちゃんが私を思ってくれてくれたおかげやなと思います。

言葉はたしかに人を支えてくれます。音、におい、感情などあらゆる感覚まで、その瞬間がよみがえってきます。言葉は、人の心を育てる素敵なものだと思われました。

はびきのしじんけんけいはつすいしんきょうぎかい
羽曳野市人権啓発推進協議会